

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
 【単独】・連携事業

市町名	大田原市
-----	------

(単位:円)

No.	単事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計	
1	那須与一の郷・高館地域活性化推進事業	総事業費	4,436,289	4,532,000	4,031,940	3,317,207	2,800,000	19,117,436
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	8,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
2	城下町くるばね 地域活性化事業	総事業費	2,395,298	2,385,311	2,342,666	1,246,260	1,500,000	9,869,535
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	8,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
3	地域資源を活かした金丸地域の活性化事業	総事業費	2,110,607	1,621,289	2,181,348	1,192,873	1,250,000	8,356,117
		うち市町支出額	2,000,000	1,500,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	7,500,000
		うち県交付金	1,000,000	750,000	1,000,000	0	0	2,750,000
4	大田原市黒羽食文化普及推進事業	総事業費	1,545,975	962,269	1,018,000	841,837	750,000	5,118,081
		うち市町支出額	1,000,000	700,000	700,000	600,000	600,000	3,600,000
		うち県交付金	500,000	350,000	350,000	0	0	1,200,000
5	大田原市産農畜産物普及促進及びそれらを原材料とした商品開発事業	総事業費	2,200,000	1,832,561	200,000	200,000	200,000	4,632,561
		うち市町支出額	2,000,000	1,600,000	0	0	0	3,600,000
		うち県交付金	1,000,000	800,000	0	0	0	1,800,000
6	地域資源“大田原の星空”を活用した観光宣伝事業	総事業費	4,490,717	5,249,903	4,235,873	600,000	1,500,000	16,076,493
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	1,000,000	7,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
7	あかがしの森保全および地域利用推進事業	総事業費	1,102,039	1,002,554	763,002	300,469	300,000	3,468,064
		うち市町支出額	1,100,000	1,000,000	750,000	270,000	240,000	3,360,000
		うち県交付金	550,000	500,000	375,000	0	0	1,425,000
8	おおたわら龍城せせらぎの舞実施事業	総事業費	1,149,000	2,052,745	1,204,861	1,237,933	1,154,000	6,798,539
		うち市町支出額	1,000,000	2,000,000	1,086,000	980,000	920,000	5,986,000
		うち県交付金	500,000	1,000,000	543,000	0	0	2,043,000
9	フクローの郷 地域活性化事業	総事業費	419,851	323,319	278,977	50,000	50,000	1,122,147
		うち市町支出額	400,000	250,000	220,000	0	0	870,000
		うち県交付金	200,000	125,000	110,000	0	0	435,000
10	両郷地区伝統芸能継承事業	総事業費	1,030,003	458,029	489,430	100,000	100,000	2,177,462
		うち市町支出額	1,000,000	400,000	430,000	0	0	1,830,000
		うち県交付金	500,000	200,000	215,000	0	0	915,000
11	花瓶山を主体とした地域活性化事業	総事業費		1,200,207	826,033	837,205	300,000	3,163,445
		うち市町支出額		1,180,000	800,000	700,000	270,000	2,950,000
		うち県交付金		590,000	400,000	350,000	0	1,340,000
12	佐良土地区伝統継承事業	総事業費		2,600,230	3,197,331	3,322,938	750,000	9,870,497
		うち市町支出額		1,500,000	1,500,000	1,000,000	500,000	4,500,000
		うち県交付金		750,000	750,000	500,000	0	2,000,000
13	地域の歴史的伝統の蜀文化の復活と普及活動による金丸・大田原の活性化事業	総事業費		1,515,337	2,104,869	1,209,103	1,200,000	6,029,309
		うち市町支出額		1,500,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	5,500,000
		うち県交付金		750,000	1,000,000	500,000	0	2,250,000
14	雲巖寺薪能実施事業	総事業費			1,000,000	980,719	1,000,000	2,980,719
		うち市町支出額			850,000	850,000	680,000	2,380,000
		うち県交付金			425,000	425,000	340,000	1,190,000
15	地域の歴史的文化的資産の活用による湯津上地区の活性化事業	総事業費		450,004	1,145,907	1,300,000	2,895,911	
		うち市町支出額		400,000	950,000	800,000	2,150,000	
		うち県交付金		200,000	475,000	400,000	1,075,000	
16	屋台出動事業	総事業費			8,261,148	7,506,558	7,700,000	23,467,706
		うち市町支出額			4,200,000	4,200,000	3,500,000	11,900,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
17	芸術文化を活用した地域活性化事業	総事業費			10,908,946	9,581,523	10,000,000	30,490,471
		うち市町支出額			7,000,000	8,500,000	9,000,000	24,500,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
18	黒羽田町夏祭り地域活性化推進事業	総事業費				2,154,690	1,500,000	3,654,690
		うち市町支出額				1,000,000	852,000	1,852,000
		うち県交付金				500,000	426,000	926,000
19	自転車を活用した地域資源“大田原の自然・人・文化”の理解促進・普及啓発事業～おおたわら丘ポター～	総事業費				1,609,109	1,250,000	2,859,109
		うち市町支出額				800,000	500,000	1,300,000
		うち県交付金				400,000	250,000	650,000
20	未来につなぐ大田原子供夏祭り実施事業	総事業費				897,100	2,000,000	2,897,100
		うち市町支出額				796,000	700,000	1,496,000
		うち県交付金				398,000	350,000	748,000
21	那珂川レディース詰約り大会実施事業	総事業費				2,221,000	1,800,000	4,021,000
		うち市町支出額				2,000,000	1,600,000	3,600,000
		うち県交付金				1,000,000	800,000	1,800,000
22	御亭山タイムトライアル実施事業	総事業費				2,867,278	4,500,000	7,367,278
		うち市町支出額				2,000,000	3,000,000	5,000,000
		うち県交付金				1,000,000	1,500,000	2,500,000
市町計	総事業費	20,879,779	25,735,754	43,494,430	43,419,696	42,904,000	176,433,659	
	うち市町支出額	14,500,000	17,630,000	27,936,000	28,646,000	28,162,000	116,874,000	
	うち県交付金	7,250,000	8,815,000	10,368,000	7,548,000	6,066,000	40,407,000	

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	花瓶山を主体とした地域活性化事業
事業主体の名称	花瓶山の会
代表者の名称	田代 義継
事業主体の所在	〒324-0211 大田原市須賀川2981
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：花瓶山という自慢できる場所を愛好家を通して多くの人にアピールし、地域の活性化を図ることを目的とする。 ・設立年月日：平成28年5月21日 ・構成員等：事業の目的に賛同する者(主に須賀川地区の住民で構成する。26名)
当該事業に係る地域の現状と課題	須賀川地区に存在する花瓶山は、国有林の中にあるため、地元の住民でも知らない者が多かったが、最近は県内はもとより、首都圏からのツアー客も増えており、休日ともなると100人近くの観光客が訪れている。人口の減少が続き、高齢化率が41%を超える須賀川地区にあって、この「花瓶山」を地域資源と捉え、今後いかにして保全し、後世に引き継いでいくか地域が一体となって考えていく必要がある。
事業目的	須賀川地区に住む住民自身が花瓶山を地域資源と捉え、一体となって保全し、継続的に情報発信に取り組むことにより、観光客を呼び込むことを目的とする。合わせて、活動を通して、世代間の交流を進め、地域の一体感を醸成し、地域に誇りをもつ住民を増やし、地域づくりの人材を育成することも目的とする。
事業概要	<p>【令和元(2019)年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①シーズン中に月2回程度の現地調査、パトロールを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・イワウチワの開花時期(4月)、カタクリ草の開花時期(4月)、新緑の時期(6月)、紅葉の時期(11月) ②遊歩道の環境整備、道標の設置を行った。 ③新たな観光スポットづくり(休耕田を活用した花畑) ④観光客用の簡易トイレ、簡易休憩所の設置・管理を行った。 ⑤須賀川地区の既存のイベント(新茶まつり、そばまつり)で花瓶山の写真展示を行った。 ⑥「お花見ハイキング」を開催した。4月7日(参加者46名) ⑦地域交流の一環として、そばの栽培、収穫を行い交流を深めた。 <p>【令和2(2020)年度以降】</p> <p>上記①～⑤を行うほか、前年度の取組を評価検討し、新たなイベントを模索するとともに、地域で稼ぐ力を備えることや地域の価値を向上させることを検討する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸福感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26:3,036,546人→R2:347万人【H29実績:3,238,862人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①花瓶山保全活動 ②遊歩道の環境整備 ③花畑づくり ④休憩所の設置 ⑤地域交流 ⑥新緑ハイキング	①花瓶山保全活動 ②遊歩道の環境整備 ③花畑づくり ④休憩所の設置 ⑤写真展 ⑥新緑ハイキング ⑦検証作業	①花瓶山保全活動 ②遊歩道の環境整備 ③花畑づくり ④休憩所の設置 ⑤写真展 ⑥お花見ハイキング ⑦独自イベント開催		①花瓶山保全活動 ②花畑づくり ③写真展 ④お花見ハイキング ⑤独自イベント開催
事業費	1,200,207	826,033	837,205	2,863,445	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,180,000	800,000	700,000	2,680,000	270,000
うち県交付金	590,000	400,000	350,000	1,340,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	20,207	26,033	137,205	183,445	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	花瓶山を主体とした地域活性化事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	700,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
会費	40,000	会費2,000円×20名
負担金	46,000	ハイキング参加者負担金 1,000円×46名
雑収入	51,205	役員負担
計	837,205	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
消耗品費	63,006	56,000	28,000	7,006	イベント用消耗品
食糧費	22,333	0	0	22,333	参加者用豚汁等
印刷製本費	0	0	0	0	
手数料	0	0	0	0	
委託料	704,800	602,000	301,000	102,800	案内看板制作、ハイキング送迎バス
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
備品費	47,066	42,000	21,000	5,066	ガスコンロ
計	837,205	700,000	350,000	137,205	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	佐良土地区伝統継承事業
事業主体の名称	佐良土地区活性化協議会
代表者の名称	生田目 昭一
事業主体の所在	〒324-0404 大田原市佐良土681-2
事業主体の概要	団体の目的:佐良土地区住民の地元への愛着心を育て、安心で安全な地域づくりを行うとともに、佐良土地区の活性化を図ることを目的とする。 設立年月日:平成29年3月26日 構成員等:佐良土地区 241世帯(役員約30名)
当該事業に係る地域の現状と課題	佐良土地区は、光丸山の門前町として栄えたところで、通りは今も当時の町並みを残している。平成元年から平成4年に栃木県の補助事業を受け、各家の前に屋号を掲げる「佐良土門前町並屋号宿」づくりに取り組み、歴史と文化が息づく個性豊かなまちづくりを進めてきた。 近年、人口減少、自営業者の減、共働き世帯の増加などにより、地域住民の世代間交流が希薄になってきていることから、地域の祭事を通じ、地域住民の交流、連携を促進する必要がある。
事業目的	佐良土地区に受け継がれてきた歴史・文化の象徴として、国選択無形民俗文化財である「大捻縄引き」があるが、人員、金銭面の負担を理由にしばしば休止し、平成18年に湯津上商工会が中心となって実施して以来途絶えている状況となっている。このような中、佐良土小学校の保護者がまとまって、佐良土区に復活の要望が提出された。地域住民の世代間交流が希薄になる中、大捻縄引きの復活を一つの契機と捉え、地域内交流を進め、100年後も「佐良土に住むことの誇り」という熱意のもと事業を展開していく。
事業概要	【令和元(2019)年度】 ①「大捻縄引き」の復活開催(来場者:約700名) 日時:8月17日(土)、会場:佐良土多目的交流センター、付近国道 内容:稲わらを寄りあげてつくった大縄(直径50cm、長さ50m)を大勢の人達で引き合う勇壮な綱引き ②諏訪神社例大祭にあわせて行われる子供相撲への支援を実施した。(参加者:20名) 日時:8月25日(日)、会場:諏訪神社境内 内容:大捻縄引きで使用した大縄を土俵として活用するとともに、参加者を増やす取組を行った。 ③地域伝統行事「豊年棒」支援 日時:十五夜、十三夜 子どもたちの豊年棒づくりに協力した。 ④地域の社会資源の融合・連携事業の検討を行った。 ⑤自然が織りなす田園風景の保全、活用推進の検討を行った。 【令和2(2020)年度以降】 上記①～⑤を実施するとともに、佐良土小学校との連携した生涯学習事業を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】 【目標②】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」(教育活動の充実) 【KPI②】若者意向調査での「大田原市に卒業後も住んでみたいと思う、いつかは住んでみたい」と思う人の割合 H28:25.1%→H32:30%【次期調査時まで把握不可能】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④、⑤佐良土小学校との事業検討	①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④佐良土小学校と連携した生涯学習事業 ⑤ワークショップの実施	①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④佐良土小学校と連携した生涯学習事業 ⑤ワークショップの実施		①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④佐良土小学校と連携した生涯学習事業 ⑤ワークショップの実施
事業費	2,600,230	3,197,331	3,322,936	9,120,497	750,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,500,000	1,500,000	1,000,000	4,000,000	500,000
うち県交付金	750,000	750,000	500,000	2,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,100,230	1,697,331	2,322,936	5,120,497	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	佐良土地区伝統継承事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	1,000,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
助成金	150,000	佐良土地区241世帯分
協賛金	1,327,750	企業協賛金
諸収入	80,007	祝金、通帳利息
繰越金	765,179	
計	3,322,936	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	209,516	0	0	209,516	救護スタッフ、司会者謝礼
消耗品費	1,176,074	494,000	247,000	682,074	稲わら、やぐら資材、看板、法被、記念品、事務用品
食糧費	310,450	0	0	310,450	飲料、昼食代
印刷製本費	453,722	226,000	113,000	227,722	チラシ(10,000部)・ポスター作成
通信運搬費	22,542	11,000	5,500	11,542	案内状郵送料
手数料	73,102	36,000	18,000	37,102	検査手数料、新聞折込、振込手数料
保険料	14,200	7,000	3,500	7,200	賠償責任保険
委託料	409,644	204,000	102,000	205,644	警備業務、音響設備設置
使用料及び賃借料	44,560	22,000	11,000	22,560	仮設トイレ
備品購入費	73,000	0	0	73,000	協賛者掲示板
修繕料	17,000	0	0	17,000	わら小屋修繕
広告料	54,000	0	0	54,000	ラジオCM
繰越金	465,126	0	0	465,126	
計	3,322,936	1,000,000	500,000	2,322,936	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動による金丸・大田原の活性化事業
事業主体の名称	金丸菊の会
代表者の名称	戸村 聖一
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 (株式会社大田原ツーリズム内)
事業主体の概要	・団体の目的: 金丸地区を中心とした地域で、歴史的に伝統文化である菊を地域の住民、学校、団体などと一緒で復活させ、イベントやボランティア活動への提供や伝統文化を継承していくことで、地域活性化を図ることを目的とする。 ・設立年月日: 平成28年4月1日(平成28年度は部会。正式な単独の会としてはH29年4月から) ・構成員等: 金丸を中心とする住民や団体、学校等のボランティア
当該事業に係る地域の現状と課題	金丸地区には国指定重要文化財である那須神社があり、その神社と繋がりをもって伝統的に菊栽培と菊のお祭りが開催されてきた。しかし現在は菊栽培を行う農家も少なくなり、衰退してしまい、祭りでも地元の菊を見ることはなくなった。歴史的に物語があり、伝統もあるこの菊の復活を地域内でも望んでいる。そのため、いかにしてこの伝統文化を継承し、次世代に伝えていけるかが課題となっている。
事業目的	衰退していた菊の栽培にもかかわらず、金丸地区活性化協議会によるお祭りの復活や地域活性の取組で、この菊部会が平成28年に立ちあがり、人数も20名を超える程に増え、一つの団体として活動しはじめた。今後の活動として、金丸地区だけにとどまらず広く大田原市全域への菊の普及を通して、伝統文化の継承と地域の活性化を行うことを目的とする。
事業概要	【令和元(2019)年度】 ①菊づくりの人材育成と菊栽培を行った 地域の人への勉強会や栽培指導 ②学校での菊栽培の指導を行った 金丸小学校やその他小中学校への指導 ③イベントでの展示参加を行った ・大田原市産業文化祭(大田原菊花展)への出品(11月2日～3日 栃木県北体育館) ・菊花祭&音楽祭in那須神社での展示(11月5日～10日) 【令和2(2020)年度以降】 前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI②】文化芸術イベントの来場者数 H26:4,790人→R2:5,000人【H29実績:3,831人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成29年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加 ④活動の推進や地域の情報を紹介するパンフレットの作成と配布	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加 ④活動の推進や地域の情報を紹介するパンフレットの作成と配布 ⑤先進地域事例の視察	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加 ④活動の推進や地域の情報を紹介するパンフレットの作成と配布 ⑤先進地域事例の視察		①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加 ④活動の推進や地域の情報を紹介するパンフレットの作成と配布
事業費	1,515,337	2,104,869	1,209,103	4,829,309	1,200,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,500,000	2,000,000	1,000,000	4,500,000	1,000,000
うち県交付金	750,000	1,000,000	500,000	2,250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	15,337	104,869	209,103	329,309	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動による金丸・大田原の活性化事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	1,000,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
販売売上	209,100	展示会時の菊販売
雑収入	3	利息
計	1,209,103	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	295,670	247,000	123,500	48,670	講師謝金等
消耗品費	877,030	753,000	376,500	124,030	菊栽培材料費
食糧費	36,400	0	0	36,400	飲み物等
印刷製本費	0	0	0	0	
広告費	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	
繰越金	3	0	0	3	
計	1,209,103	1,000,000	500,000	209,103	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	雲巖寺薪能実施事業
事業主体の名称	やみぞあづまっぺ協議会
代表者の名称	鈴木 一利
事業主体の所在	〒324-0213 大田原市雲岩寺60
事業主体の概要	団体の目的:地区住民が明るく元気よく暮らせ、地域の本物を発見発掘し後世につなぐこと。 設立年月日:平成24年4月 構成員等:地域住民及び地域の活動に賛同していただける方
当該事業に係る地域の現状と課題	雲岩寺地域は大田原市の北東部に位置し、中心市街地より30km以上離れた地域であり、少子高齢化が顕著に進んでいる。「雲巖寺」という歴史のある由緒正しき寺院が建立されており、近年の歴史探究ブーム等により当寺院へ訪れる人はいるものの、寺院以外の目的はなく、地域の発展にはつながっていない。 また、第一次産業で生計を立てている人がほとんどであるが、今後ますますの少子高齢化により耕作放棄地が拡大しつつある。
事業目的	市内外からの来訪者を増やし、地域の農作物等の魅力を伝えていくことによって雲岩寺地域の価値を“地面”から見直していくとともに、農産物の生産、行事等の参加を通じて地域の高齢者の生きがいづくりや世代間の交流を図ることを目的とする。
事業概要	【令和元(2019)年度】 構成員が一丸となり地域の行事への参加取り組みを実施した。 ①薪能を開催した(12月14日(土)雲巖寺)300名来場 ②農産物の生産・販売等 ③農産物の生産による高齢者の生きがいづくり及び就労の確保 ④幅広い年齢層のコミュニケーション構築のための行事実施 ・お茶摘み体験会(5月)27名参加 ・やみぞあづまっぺ協議会収穫祭(11月9日)300名来場 ・門松づくり(12月6日) ⑤アフターDCに合わせた地域の観光案内 【令和2(2020)年度以降】 前年度の反省点を踏まえ、事業内容の改善を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H29実績:3,238,862人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築 ⑤とちぎDCに合わせた観光案内	①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築	①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築		①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築
事業費	1,000,000	980,719	1,000,000	2,980,719	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	850,000	850,000	680,000	2,380,000	0
うち県交付金	425,000	425,000	340,000	1,190,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	150,000	130,719	320,000	600,719	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	雲巖寺薪能実施事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市交付金	850,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
寄付金	60,000	薪能寄付金
協賛金	0	薪能協賛金
繰越金	70,719	前年度繰越金
計	980,719	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	599,540	535,000	267,500	64,540	出演者謝礼
消耗品費	20,285	18,000	9,000	2,285	事務用品等
食糧費	13,797	0	0	13,797	演者昼食等
印刷製本費	119,158	107,000	53,500	12,158	チラシ900部、ポスター35部作成
通信運搬費	11,360	10,000	5,000	1,360	機材運搬
手数料	101,940	91,000	45,500	10,940	舞台照明、音響設置手数料
保険料	13,960	12,000	6,000	1,960	賠償責任保険
委託料	53,240	47,000	23,500	6,240	警備業務等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	
旅費	34,370	30,000	15,000	4,370	演者交通費、宿泊料
繰越金	13,069	0	0	13,069	
計	980,719	850,000	425,000	130,719	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域の歴史的文化的資産の活用による湯津上地区の活性化事業
事業主体の名称	那須国古代ロマンプロジェクト
代表者の名称	佐藤 憲一
事業主体の所在	〒324-0404 大田原市佐良土853(湯津上商工会内)
事業主体の概要	団体の目的:湯津上地区における歴史的資産である「那須国造碑」「侍塚古墳群」の調査研究と観光地として整備することで歴史的資産を後世に遺し、地域の活性化を図ることを目的とする。 設立年月日:平成30年4月7日 構成員等:商工・観光団体の代表者、地域関係者、学識経験者、プロジェクトが認める者
当該事業に係る地域の現状と課題	湯津上地区には国宝に指定されており日本三古碑の一つである「那須国造碑」や国史跡に指定され日本一美しい古墳と呼ばれている下侍塚古墳を中心とした「侍塚古墳群」などの歴史的資産を有するが、現状、地域人口の減少により自主的な環境整備にまで手が回らず、せっかくの歴史的資産が朽ち果てていく一方である。
事業目的	地域住民の減少により朽ち果てつつある湯津上地区の歴史的文化的資産を学術的な見地により検証することは、全国の歴史愛好家の興味を惹くものであり、この歴史的資産を有効に活用することで交流人口の増加を図り、地域の賑わいを取り戻すきっかけを作る。最終的に歴史公園としての整備を望んでいるが、その前段としてこの歴史的資産を活用し学術的な検証を行い文化講演を実施し交流人口の増加につなげたい。
事業概要	【令和元(2019)年度】 ①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 専門家による学術的な検証を実施した。 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 専門家による学術的な検証を実施した。 ③プロジェクトPRの実施 ・天狗王国祭りに参加し、那須国古代ロマンプロジェクトのPRに取り組みだ。 ④専門家による文化講演会の開催を3月8日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 地域住民はもとより歴史愛好家に対し歴史的背景を浸透させることで交流人口拡大へ貢献するため、歴史文化講演会を開催するため準備を行った。 【令和2(2020)年度以降】 前年度の事業の反省を踏まえ、上記①～④を継続して実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績128人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI②】文化芸術イベントの来場者数 H26:4,790人→R2:5,000人【H29実績:3,831人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③専門家による文化講演会の開催 ④地域の情報を紹介するパンフレット等の作成	①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③プロジェクトPRイベントの実施 ④専門家による文化講演会の開催	①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③プロジェクトPRイベントの実施 ④専門家による文化講演会の開催		①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③プロジェクトPRイベントの実施 ④専門家による文化講演会の開催
事業費	450,004	1,145,907	1,300,000	2,895,911	450,000
市町支出金 (ソフト事業分)	400,000	950,000	800,000	2,150,000	0
うち県交付金	200,000	475,000	400,000	1,075,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	50,004	195,907	500,000	745,911	450,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域の歴史的文化資産の活用による湯津上地区の活性化事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	950,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
協賛金	80,000	湯津上地区の賛同者からの寄付
販売売上	0	
負担金	115,000	
繰越金	905	
雑収入	2	栃木銀行利息
計	1,145,907	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	0	0	0	0	講習会講師謝礼
消耗品費	76,377	68,000	34,000	8,377	講演会、イベント用消耗品
印刷製本費	250,800	225,000	112,500	25,800	イベントポスター50部・イベントパンフ10,000部・チラシ2,000部
通信運搬費	820	0	0	820	チラシ配送料
広告費	141,000	126,000	63,000	15,000	パンフレット作製等
委託料	475,500	427,000	213,500	48,500	古墳周辺等整備業務
使用料及び賃借料	197,170	104,000	52,000	93,170	バス賃借料・視察交流会会場使用料等
手数料	550	0	0	550	
繰越金	3,690	0	0	3,690	
計	1,145,907	950,000	475,000	195,907	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	屋台出動事業
事業主体の名称	大田原市屋台まつり実行委員会
代表者の名称	委員長 小倉正敏
事業主体の所在	大田原市山の手1丁目1番1号
事業主体の概要	・団体の目的:大田原市の祭事、記念行事等に屋台(山車)を出動し、市民の連帯感と郷土愛を育み、伝統文化の継承を図る。 ・設立年月日:平成3年2月21日 ・構成員等:大田原市内に屋台を有する町内の祭典委員長等 64名
当該事業に係る地域の現状と課題	本市中心市街地は、江戸時代には宿場町として栄え、以降本市の中心地として発展してきたが、近年では人口や商業施設の減少など、中心市街地の空洞化が進んでいた。その対策として、平成20年に国の認定を受け、中心市街地活性化事業に取組み、現在は事業により整備した複合商業施設を中心に賑わいを取り戻しつつあるが、人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。 そのような中、民間事業者による宅地分譲により、新たな居住者が増えている地域もあり、今後、地域コミュニティの強化を図るうえでも住民間で交流を促進し、連帯感を醸成していく必要がある。
事業目的	祭りを通して、市民の連帯感と郷土愛を育み、市伝統文化の継承を図るとともに、市外に大田原をPRすることにより産業の振興及び文化の発展を図る。
事業概要	【令和元(2019)年度】 ①大田原屋台まつりの実施 期日 平成31(2019)年4月20日(土)・21日(日) 会場 大田原市中心市街地 内容 中心市街地において、9町内の花鳥・唐獅子など精巧な技法で彫り込まれた華やかな屋台を引き回し、江戸時代から続く伝統行事の継承、祭りを通じて地域の連帯感を培った。(来場者数60,000人) ②大田原屋台まつり写真コンクールの実施 祭り期間中に撮影した屋台、屋台引き回し、参加者、ぶっつけ等の迫力ある写真を応募対象として写真コンクールを実施した。(応募点数:72点) 【KPI向上の取組】 江戸時代から続く大田原屋台まつりの伝統及び祭りの醍醐味である屋台同士のお囃子の競演「ぶっつけ」の迫力を市内外に広く情報発信するためのPRを強化する。 平成30年度に引き続き、大田原市DC実行委員会と連携し、「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン特別企画として、祭り両日ともに桟敷席を設けるなどの取り組みを行った。 【令和2(2020)年度以降】 前年度の成果を踏まえ、祭り来場者の増加及びおもてなしの向上を図り、更なる来場者の増加に取組んでいく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知事と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H29実績:3,238,862人】

事業内容	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業費	8,261,148	7,506,558	7,700,000	23,467,706	7,800,000
市町支出金(ソフト事業分)	4,200,000	4,200,000	3,500,000	11,900,000	4,200,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,061,148	3,306,558	4,200,000	11,567,706	3,600,000

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohkawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	屋台出動事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	4,200,000	大田原市屋台出動事業費補助金
補助金	230,000	大田原商工会議所、大田原市観光協会、大田原商店連盟
負担金	720,000	出動負担金(9町×80,000円)
協賛金	100,000	写真コンクール協賛金(各団体計10,000円、各町計90,000円)
事業収入	1,535,000	チラシ広告料(840,000円)、カレンダー販売(668,000円)、慰労会負担金(27,000円)
雑収入	206,064	祝金(103,000円)、警備員追加負担金(102,000円)、預金利息等(1,064円)
繰越金	515,494	
計	7,506,558	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	2,847,656	1,990,000	0	857,656	屋台出動謝礼(傷害保険補助金)
旅費	0	0	0	0	
交際費	33,937	0	0	33,937	
消耗品費	156,286	150,000	0	6,286	イベント時消耗品、事務用品等
印刷製本費	1,661,904	1,000,000	500,000	661,904	ポスター、チラシ、カレンダー等
食糧費	562,601	0	0	562,601	会場設営・会議時飲物等
通信運搬費	53,422	50,000	0	3,422	
広告費	0	0	0	0	
委託料	944,808	850,000	420,000	94,808	警備・花火・音響等
使用料及び賃借料	207,912	160,000	80,000	47,912	会場トイレ・会場借上げ等
手数料	4,600	0	0	4,600	道路使用許可申請手数料
予備費	0	0	0	0	
積立金	490,000	0	0	490,000	
繰越金	543,432	0	0	543,432	
計	7,506,558	4,200,000	1,000,000	3,306,558	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	芸術文化を活用した地域活性化事業
事業主体の名称	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員会
代表者の名称	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員長 津久井 富雄
事業主体の所在	大田原市本町1-4-1
事業主体の概要	・団体の目的: 広く市民に芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術の美しさ楽しさ、面白さに対する市民の関心を喚起し、ひいては地域文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成9年5月13日 ・構成員等: 会長1名、副会長2名、委員5名、監事2名、オルガナイザー1名
当該事業に係る地域の現状と課題	両郷地区は少子化、若い世代の地域外への転出増加により急速に過疎化が進んでいる。中学校の統合により両郷地区内の学校施設に大田原芸術文化研究所を設置し、芸術活動を実施している。この活動を通して新しい人の流れを作り、地域の活性化につながっているため、引き続き地域外から人を呼び込み、地域住民は地域の価値、良さを認識し、地域を守り支える活動が展開されることが大切である。
事業目的	両郷地区住民を含め広く市民に芸術鑑賞の機会を提供し、芸術の美しさ、面白さに対する関心を喚起する。また、芸術文化の発信地としての存在を高め、市内外から人を呼び込み、両郷地区の活性化を図る。
事業概要	【令和元(2019)年度】 ①公開制作の実施 期日 令和元(2019)年7月30日(土)~8月16日(金) 内容 国内外から彫刻家・画家等を招へいし、芸術文化研究所において芸術作品の公開制作を行った。 期間中來場者 855名 ②展覧会の開催 期日 令和元(2019)年8月18日(日)~8月24日(土) 内容 ①の公開制作において制作された作品の展覧会を開催した。 会場 トコトコ大田原市民交流センター 期間中來場者 659名 ③市民対象イベントの実施 期日 令和元(2019)年8月10日(土) 内容 ①の招へい作家等が講師となり、市民を対象にした平面のワークショップを開催した。市民芸術家との交流の場もなった。 参加者 39名 【令和2(2020)年度以降】 令和元(2019)年度の成果を踏まえ、上記①~③を実施する。1年ごとに作家の招へい方式を変え、「芸術シンポジウム」「アーティストインレジデンス」を交互に実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (半ば態向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績:126人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI②】文化芸術イベントの來場者数 H26:4,780人→R2:5,000人【H29実績:3,831人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①公開制作 ②展覧会 ③市民対象イベント	①公開制作 ②展覧会 ③市民対象イベント	①公開制作 ②展覧会 ③市民対象イベント		①公開制作 ②展覧会 ③市民対象イベント
事業費	10,908,948	9,581,523	10,000,000	30,490,471	10,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	7,000,000	8,500,000	9,000,000	24,500,000	9,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,908,948	1,081,523	1,000,000	5,990,471	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	芸術文化を活用した地域活性化事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	8,500,000	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員会運営費補助金
繰越金	1,081,506	前年度繰越金
雑収入	17	預金利息等
計	9,581,523	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
報償費	950,000	950,000	0	0	作家報酬等
旅費	2,235,861	2,235,861	0	0	作家等旅費
消耗品費	1,434,486	1,434,486	350,000	0	公開制作用消耗品
印刷製本費	926,512	926,512	250,000	0	図録・ポスター・DM等
食糧費	1,061,079	1,061,079	0	0	作家食事代等
通信運搬費	156,255	156,255	40,000	0	郵送料、インターネット接続料等
手数料	316,214	316,214	80,000	0	図録英訳手数料等
保険料	61,200	61,200	10,000	0	傷害保険料
使用料及び賃借料	887,930	887,930	240,000	0	公開制作用機材賃借料、温泉施設使用料
工事請負費	0	0	0	0	
原材料費	30,000	30,000	0	0	公開制作用原材料
予備費	0	0	0	0	
委託料	111,000	111,000	30,000	0	
繰越金	1,410,986	329,463		1,081,523	
計	9,581,523	8,500,000	1,000,000	1,081,523	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	黒羽田町夏祭り地域活性化推進事業
事業主体の名称	黒羽田町夏祭り実行委員会
代表者の名称	齋藤 光晴
事業主体の所在	〒324-0233 大田原市黒羽田町639-2
事業主体の概要	団体の目的:市内北部の黒羽田町周辺地域の活性化 設立年月日:平成30年6月2日 構成員等:黒羽田町区自治会役員32名(黒羽田町区住民200名)
当該事業に係る地域の現状と課題	黒羽田町周辺地域は、合併前の旧黒羽町の中心的地域であるが、商店街が疲弊し閑散としている。若者の減少による祭り開催の原動力不足に加え、祭りの資金不足も深刻な問題である。しかし、平成30年度には、市内外の祭り団体等を介して彫刻屋台の引手不足を補ったことや、地元住民の資金協賛を得られたことにより、8年ぶりに祭りを復活させることができた。今後も、様々な協力・交流関係を模索しながら、地元単独ではなし得ない祭りの開催を継続し、地域活性化につなげていくことが課題となっている。
事業目的	長年慣れ親しんでいた夏の風物詩である黒羽田町夏祭り彫刻屋台の町内引き廻しを通して、地元住民の親睦と協調を深め、郷土愛を育成し、賑わいの創出と他地域との地域間交流の場を広げる。
事業概要	【令和元(2019)年度】 ・黒羽田町夏祭りを開催した。(7月13・14日 蔵屋敷公園広場内に各種イベントブースを設置) ・彫刻屋台(お囃子の演奏と共に)の町内引き廻し(7月13日、14日各2回)の実施。 【令和2(2020)年度以降】 前年度の反省点を踏まえ、事業内容の改善を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H29実績:3,238,862人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①黒羽田町夏祭りの開 ②彫刻屋台の町内引き廻しの実施	①黒羽田町夏祭りの開 ②彫刻屋台の町内引き廻しの実施		①黒羽田町夏祭りの開 ②彫刻屋台の町内引き廻しの実施
事業費	2,154,690	1,500,000	3,654,690	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	852,000	1,852,000	0
うち県交付金	500,000	426,000	926,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	1,154,690	1,802,690	800,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	黒羽田町夏祭り地域活性化推進事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市交付金	1,000,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
各戸負担金	199,000	1,000円×199戸
地域協賛金	615,000	地元企業・商店協賛金
祝金	203,000	夏祭り個人祝金
出店売上金	97,690	夏祭り出店売上(2日分)
繰越金	40,000	前年度繰越金
計	2,154,690	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	88,460	0	0	88,460	お囃子会謝礼、イベント出演者謝礼
消耗品費	1,140,984	802,000	401,000	338,984	夏祭り用資材、法被、のぼり旗
燃料費	1,470	0	0	1,470	発電機用ガソリン代
食糧費	392,098	0	0	392,098	食料・賄材料
印刷製本費	146,556	100,000	50,000	46,556	チラシ、ポスター作成、写真印刷
通信運搬費	5,360	0	0	5,360	切手等
手数料	5,812	0	0	5,812	法被クリーニング等
保険料	29,700	20,000	10,000	9,700	損害保険料
委託料	134,460	40,000	20,000	94,460	ビデオ撮影委託
使用料及び賃借料	17,000	0	0	17,000	カラオケ機材借上等
備品購入費	183,140	38,000	19,000	145,140	屋台大提灯、紅白大綱
繰越金	9,650	0	0	9,650	
計	2,154,690	1,000,000	500,000	1,154,690	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	自転車を活用した地域資源“大田原の自然・人・文化”の理解促進・普及啓発事業～おおたわら丘ポタ～
事業主体の名称	大田原サイクリング協会
代表者の名称	会長 植木 敦生
事業主体の所在	大田原市美原1-7-5(RaChePi内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 自転車を活用したイベント等の開催をすることで、県内外からサイクリストを大田原市に集めることで地域の観光を盛り上げるとともに、自転車が安全で走りやすい環境の構築、他地域への情報発信及び交流を通じた地域活性化を図る。</p> <p>・設立年月日: 平成29年11月19日</p> <p>・構成員等: サイクリング愛好者等 16名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は地元のプロサイクリングチームが練習コースにしている御亭山をはじめ那珂川沿岸などサイクリストにとって魅力が多い資源があるにも関わらず、サイクリストが通過するだけの「まち」とされてきた。平成27年度の全日本自転車競技選手権大会の開催をきっかけに、県内のサイクルツーリズムへの取組みや市主催のサイクリングイベントの開催と相まって多くのサイクリストが訪れるようになり、サイクリストを受け入れる態勢も少しずつ整ってきたところである。しかし、市主催のサイクリングイベント「おおたわらエコポタ」や「プロツアー」事業が終了し、サイクリングイベントが少なくなってしまう。</p> <p>ポタリングイベントの開催を継続することで、リピーターとなるサイクリストの受け皿を作ること、また、大田原市に新たな人の流れをつくらせて交流を促進し、地域資源である大田原市の自然・人・食・文化を市内外に広く知ってもらい、地域の活性化を図ることが重要である。</p>
事業目的	ポタリングイベントを開催し、市内外に「自転車のまち」大田原のPRを行う。また、自転車で市内を周遊しながら地元のグルメを味わうことで、地域資源である“大田原の自然・人・文化”を知ってもらい、郷土愛を育むとともに、産業の振興及び各種スポーツ自転車イベントを通じスポーツに触れる機会を提供する。
事業概要	<p>【令和元(2019)年度】</p> <p>「おおたわら丘ポタ」の実施 期日 令和元(2019)年10月13日(日)(参加者108名) 会場 大田原市役所湯津上支所 内容 大田原市の隠れた絶景スポット「那須野ヶ原ファーム」や「ふれあいの丘」を自転車で周遊し、自然の豊かさに触れ、グルメを味わうことで大田原市の魅力を再発見するためのポタリングイベントを開催した。</p> <p>①丘ポタ32(32km)コース 二つの丘を周遊することで自転車愛好家にも満足感が得られるコース。(参加者87名) 大田原市役所湯津上支所→ふれあいの丘→那須野ヶ原ファーム→大田原市役所湯津上支所</p> <p>②ファミリーライド22(22km)コース 自転車初心者、ファミリーでも気軽に楽しめるコース(参加者21名) 大田原市役所湯津上支所→那須野ヶ原ファーム→大田原市役所湯津上支所</p> <p>【KPI向上の取組】 参加者の脚力に合わせた二つのコースを設定することで、自転車初心者やファミリーでも参加しやすいポタリングイベントにするとともに、大田原市の地域資源である豊かな自然を体験できるコース設定とした。 コースに合わせた特長のあるエイドを設定し地元のグルメを提供し、大田原の「食」をPRした。 エイドや運営に地元ボランティアに参加してもらい、大田原市の「人」に触れて交流促進を図った。</p> <p>【令和2(2020)年度】 前年度の成果を踏まえ、参加するサイクリストの増加及びおもてなしの向上を図り、サイクリストに優しいまち大田原市のPRを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (寄せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H29実績:3,238,862人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		支援期間の事業費計	
	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	33年度	33年度
事業内容	おおたわら丘ポタの開催	おおたわら丘ポタの開催				おおたわら丘ポタの開催
事業費	1,609,100	1,250,000	2,859,100	1,000,000		
市町支出金(ソフト事業分)	800,000	500,000	1,300,000	0		
うち県交付金	400,000	250,000	650,000			
市町支出金(ハード事業分)			0			
うち県交付金			0			
その他自主財源等	0	809,100	1,559,100	1,000,000		

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	自転車を活用した地域資源“大田原の自然・人・文化”の理解促進・普及啓発事業～おおたわら丘ポタ	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	800,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
参加費	364,100	3,500円×83名、3,000円×18名、2,800円×7名
協賛金等	445,000	22件
計	1,609,100	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	175,427	18,000	9,000	157,427	参加記念品、ゼッケンラベル
食糧費	278,961	0	0	278,961	参加者エイド、参加者昼食
印刷製本費	10,750	8,000	4,000	2,750	案内ポストカード1,000部
通信運搬費	24,861	19,000	9,500	5,861	参加通知送付
保険料	15,012	12,000	6,000	3,012	傷害保険料
委託料	393,400	248,000	124,000	145,400	コース監修、WEB管理等
備品購入費	291,928	160,000	80,000	131,928	看板、拡声器等
手数料	28,761	23,000	11,500	5,761	エントリー手続き手数料等
使用料及び賃借料	390,000	312,000	156,000	78,000	会場用資材等
				0	
計	1,609,100	800,000	400,000	809,100	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	未来につなぐ大田原子供夏祭り実施事業
事業主体の名称	大田原絆祭り実行会
代表者の名称	高橋 誠
事業主体の所在	大田原市紫塚3-2609-45
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「未来につなぐ大田原子供夏祭り」の開催を通じ、これからの大田原市を担う子供達の地域への愛着心を養い、もっと「大田原市を好きになってもらう」きっかけを作り、子供参加型とすることにより自分たちも将来楽しみながら大田原市を盛り上げていく意識づくりにつながる実体験の提供を目的とする。</p> <p>・設立年月日:2019年4月1日</p> <p>・構成員等:実行役員6名、学生等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>大田原市では年々人口減少、少子高齢化、若者の県外への人口流出が問題となっている。その一つの要因として子供たち、若者の地元に対する愛着心の低下、自分たちの住んでいる市町村への関心の薄れなどが大きく関わっていることを切に感じている。それらの問題を解決していくには、若者や子供たち参加型のイベント開催が有効であると感じているが、いかにして若者や子供たちを巻き込み、自分たちでイベントを作り上げていく楽しさや成功体験を味わう機会を提供できるかが課題である。</p>
事業目的	<p>・子供達の地域への愛着心を養う。</p> <p>・大田原市のテーマである「子供の笑顔が育つ町」の推進と実行。</p> <p>・市民自身に地域の魅力を認識してもらう。</p> <p>・若者、子供たちに大田原市の魅力を認識してもらい、定住を促す。</p>
事業概要	<p>【令和元(2019)年度】</p> <p>「未来につなぐ大田原子供夏祭り2019」を開催した。(11月10日:来場者300人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒羽太鼓 ・交通安全ショー ・国際医療福祉大学生によるパフォーマンス ・子供マルシェ ・フリーマーケット ・大田原グルメ市 ・ワクワクピクニック ・アルパカふれあい広場 ・謎解きスタンプラリー ・子供夏の思い出お絵かきコンテスト <p>【令和2(2020)年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を評価分析し、継続して実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H29実績:3,238,862人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	「未来につなぐ大田原子供夏祭り」開催	「未来につなぐ大田原子供夏祭り」開催		「未来につなぐ大田原子供夏祭り」開催
事業費	897,100	2,000,000	2,897,100	1,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	796,000	700,000	1,496,000	0
うち県交付金	398,000	350,000	748,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	0
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	1,300,000	1,401,100	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohtawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	未来につなぐ大田原子供夏祭り実施事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	796,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
食品販売	21,000	大田原グルメ企画
物品販売	10,000	フリーマーケット
協賛金	70,100	企業協賛金
計	897,100	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	90,000	81,000	40,500	9,000	出演者謝礼
消耗品費	329,215	296,200	148,100	33,015	容器、器具、文房具類、日よけ等
食糧費	28,240	25,400	12,700	2,840	出演者昼食等
印刷製本費	155,130	139,600	69,800	15,530	チラシ500部、ポスター240部
燃料費	0	0	0	0	
広告宣伝費	0	0	0	0	
保険料	0	0	0	0	
委託料	66,000	59,400	29,700	6,600	移動動物園
使用料及び賃借料	14,100	12,600	6,300	1,500	会議室、着ぐるみ等使用料
備品購入費	199,100	179,100	89,550	20,000	音響備品等
手数料	3,080	2,700	1,350	380	振込手数料
繰越金	12,235			12,235	
計	897,100	796,000	398,000	101,100	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業
事業主体の名称	大田原市芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会実行委員会
代表者の名称	会長 吉岡 博美
事業主体の所在	大田原市黒羽田町848 大田原市観光協会内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 大田原市芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会の実施 ・設立年月日: 2019年4月1日 ・構成員等: 大田原市観光協会会長及び副会長等、那珂川北部漁業協同組合組合長及び各支部長等、黒羽商工会会長、那須ダイワ㈱代表取締役 等18名
当該事業に係る地域の現状と課題	本市中央を流れる清流那珂川は、鮎が多く生息する川として全国的に知られており、毎年、ダイワやシマノといった大手釣り具メーカーによる鮎釣り大会も開催されている。また、那珂川沿岸には鮎を生業としている個人事業者も多く、観光客を鮎料理等で楽しませている。一方、アユ釣りは年々減少傾向にあることから、魅力的な事業等により鮎釣りの楽しさを伝え鮎釣りファンを増加を図る必要がある。
事業目的	自然豊かな那珂川で女性が安心して鮎釣りを楽しむことを通し、釣り客の増加と河川愛護精神の高揚を目指すとともに、本市への観光誘客の増大と地域経済の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【令和元(2019)年度】</p> <p>大田原市芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会を開催した。</p> <p>期日 令和元(2019)年6月16日(日)</p> <p>会場 那珂川河川公園(黒羽商工会裏)</p> <p>参加者 栃木県内49名(内大田原市内12名、その他37名)、他都県28名 計77名</p> <p>参加費 入漁券がない方3,000円×62名、入漁券持参の方2,000円×15名</p> <p>内容 女性限定の鮎釣り大会。 釣り道具を無料でレンタルし、地元ベテラン釣り師がインストラクターとして指導した。 初心者でも安心して参加できる釣り大会となった。</p> <p>【令和2(2020)年度以降】</p> <p>前年度の反省点を踏まえ、事業内容の改善を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績126人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H28: 3,038,546人→R2:347万人【H29実績:3,238,882人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	大田原市芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会の実施	大田原市芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会の実施		大田原市芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会の実施
事業費	2,221,000	1,800,000	4,021,000	1,800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	1,600,000	3,600,000	1,600,000
うち県交付金	1,000,000	800,000	1,800,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	
その他自主財源等	0	200,000	421,000	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohkawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	2,000,000	那珂川レディース鮎釣り大会補助金
参加者負担金	216,000	初心者62名×3千円、経験者150名×2千円
協賛金	5,000	那珂川あゆ街道推進協議会協賛金
計	2,221,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	100,749	100,000	50,000	749	賞品
消耗品費	72,742	72,000	36,000	742	事務用消耗品、賞状用紙 等
印刷製本費	421,560	421,000	210,500	560	ポスター200枚、チラシ6,000枚
食糧費	116,803	0	0	116,803	参加者、インストラクター、スタッフ弁当、飲み物
通信運搬費	8,348	8,000	4,000	348	はがき、切手、賞品配送
保険料	12,546	12,000	6,000	546	傷害保険
委託料	953,800	950,000	475,000	3,800	オトリ鮎手配、インストラクター手配、音響設備 等
使用料及び賃借料	3,000	3,000	1,500	0	公民館使用料
備品購入費	434,484	434,000	217,000	484	テント、テーブル、イス 等
予備費	0	0	0	0	
繰越金	96,966	0	0	0	
計	2,221,000	2,000,000	1,000,000	124,032	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

1 市町のみで事業を実施する場合

2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	御亭山タイムトライアル実施事業
事業主体の名称	御亭山TT実行委員会
代表者の名称	御亭山TT実行委員会 会長 津久井富雄
事業主体の所在	大田原市美原3-2-62
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:御亭山TTが円滑に運営されるよう必要事項について審議し、開催準備運営に万全を期することを目的とする。 ・設立年月日:平成30年5月8日 ・構成員等:会長1名、副会長1名、委員8名、監事2名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>レース開催地となる御亭山は、標高512m、山頂は緑地公園となっており、那須連山のほか、条件を整えば富士山も望める眺望の良さを誇るスポットであり、加えて、地元のプロサイクリングチームが練習コースにするなどサイクリストにとって魅力的なスポットでもある。</p> <p>しかしながら、この魅力を知っている人は限られており、せっかくの魅力的な資源が有効に活用されていない状況である。この御亭山の魅力を有効に活用し、市に人を呼び込み、地域活性化につなげていく取組が必要である。</p>
事業目的	近年、大田原市でも力を入れている自転車の街づくり及びサイクルツーリズム推進の取組に合わせ、参加型の自転車イベントを御亭山を会場として開催することにより、御亭山の魅力を全国に発信するとともに、大田原市を全国的にPRし、大田原市への人の流れを作り、地域活性化につなげることを目的とする。
事業概要	<p>【令和元(2019)年度】 御亭山TT2019を開催した。 ①期日 令和元(2019)年7月20日(土) ②場所 メイン会場 大田原市湯津上支所 開会式8:00、表彰式13:00 レース会場 大田原市北滝地内 御亭山(標高512m) 第1ヒート9:10スタート、第2ヒート10:50スタート ③内容 御亭山を自転車で計時走行し、カテゴリー毎にその結果によって表彰等を行った 第1ヒート(全員参加) 5.2km(標高差338m、平均斜度6.1%) 第2ヒート(限定参加) 1.8km(標高差160m、平均斜度8.2%) ※第1ヒート20分以内の希望者のみ参加可能 ④募集 合計200名(小学4年生以上の9カテゴリーによる)</p> <p>【令和2(2020)年度以降】 前年度の反省点を踏まえ、事業内容の改善を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛」ある共同互恵のまちづくり) 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H29実績128人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H29実績:3,238,882人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容		令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		御亭山TTレース開催	御亭山TTレース開催		御亭山TTレース開催
事業費		2,867,276	4,500,000	7,367,276	4,500,000
	市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	3,000,000	5,000,000	3,000,000
	うち県交付金	1,000,000	1,500,000	2,500,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
	その他自主財源等	0	1,500,000	2,367,276	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8794
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohkawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	御亭山タイムトライアル実施事業		
対象年度	元	年度	

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	2,000,000	御亭山TT2019運営費補助金
大会参加料	532,000	大人180人×6千円、高校生10人×4千円、小中学生10人×4千円
協賛金	0	
雑収入	21,014	エイド付き送迎バス、預金利息等
繰越金	314,262	前年度繰越金
計	2,867,276	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	678,698	600,000	300,000	78,698	表彰用賞品、関係者報償
消耗品費	35,220	0	0	35,220	事務用品、事業用消耗品
印刷製本費	212,800	200,000	100,000	12,800	PR用チラシ等
食糧費	51,200	0	0	51,200	会議用飲み物、役員弁当代
通信運搬費	36,778	0	0	36,778	郵送料
手数料	10,734	0	0	10,734	振込手数料
保険料	8,733	0	0	8,733	傷害保険料
委託料	1,107,366	1,000,000	500,000	107,366	計測業務、警備業務委託
使用料及び賃借料	594,308	200,000	100,000	394,308	バス、仮設トイレ、会場物品借上げ料
予備費	0	0	0	0	
繰越金	131,439			131,439	
計	2,867,276	2,000,000	1,000,000	867,276	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合